

## 研究課題 原発性および転移性小腸腫瘍の臨床病理学的検討に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2001年1月1日～2023年3月31日までに当院で小腸腫瘍に対する生検または手術を受けられた方。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

小腸腫瘍は稀な疾患であり、その検査法の特殊性から早期発見が困難であり、不良な経過を辿るとされています。私たちの研究は、小腸腫瘍と診断された方の診断時の検体を用いて、病理組織の再検討を行います。また、必要に応じて免疫染色を追加します。小腸腫瘍の患者様の新たな予後因子を探索することは、更なる治療成績の向上を目指した診療および研究の基盤を確立するとともに、今後の病理診断や治療の重要な情報が得られることが期待されます。研究は、名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学講座にて行います。試料・個人情報個人情報管理者により連結可能匿名化されます。匿名化したデータは、医系研究棟1号館7階の名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学講座研究室でパスワードロックのかかった外付けHDDで保管します。対応表（連結表）は紙資料で作成し、中央診療棟3階の病理検査室内の鍵付き保管庫で、電磁的データ、プレパラートは医系研究棟1号館7階の名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学講座研究室の鍵付き保管庫で保管します。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

病理材料：小腸腫瘍と診断された既存検体が対象となります。

情報：以下の項目を電子カルテから収集します。

① 総合所見

施設内管理番号、生年月日、診断時年齢、性別、診断日、治療開始日

② 診断時所見

病変部位、病期、他臓器転移、病変サイズ、臨床症状、血液検査情報（一般採血に含まれる血算、CEAやCA19-9などの腫瘍マーカーを含む）、各種画像情報（内視鏡所見、CT所見、FDG-PETなど）、病理学的検査

③ 治療開始後経過

初期治療、治療反応性、再発の有無、再発部位

④ 転帰

生死、生存の最終確認日、最終確認日の病勢、死亡日、死因

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学

466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65

TEL: 052-744-2896 FAX: 052-744-2897

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学教授・教授・中村栄男

研究代表者：

名古屋大学大学院医学系研究科臓器病態診断学教授・教授・中村栄男